

# 平成26年度 坂井市財務書類4表<概要>

[総務省方式改訂モデル]

※表の数値は、表示単位未満で四捨五入しているため合計が一致しない場合があります。

## 貸借対照表 (バランスシート)

平成26年度末時点において、坂井市普通会計および第三セクター等を含めた連結ベースで市の資産がどれだけあり、その資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなってきたかを一目でわかるようにしたものです。左側に「資産」を表示し、右側に「負債」および資産と負債の差額である「純資産」を計上しています。

貸借対照表から坂井市の財政状況を見ますと、将来世代の負担といえる「負債」に対し、これまでに整備された「資産」が約3倍あり、財政の健全化は十分確保されているといえます。

(表示単位:百万円)

資産の部(これまで積み上げてきた資産)			負債の部(将来の世代が負担する金額)				
	坂井市 普通会計	連結		坂井市 普通会計	連結		
1 金融資産	(1) 資金 現金・預金など	4,255	9,514	1 流動負債	(1) 公債(短期) 公債残高のうち翌年度 償還予定額	2,562	5,268
	(2) 債権 未収金・貸付金など	163	954		(2) その他 未払金のうち翌年度支払 予定額、賞与引当金など	319	1,542
	(3) 投資等 出資金・基金など	7,923	11,552	2 非流動負債	(1) 公債 公債残高のうち翌々年 度以降償還予定額	34,824	68,799
2 非金融資産	(1) 事業用資産 庁舎、保育所、学校、 福祉施設など	79,217	85,163		(2) 退職手当等引当金	6,304	8,647
	(2) インフラ資産 道路、公園、上下水道 など	42,430	114,359		(3) その他 未払金のうち翌々年度 以降支払予定額など	0	183
	(3) その他資産 繰延資産など	0	8	負債合計		44,009	84,439
資産合計	133,988	221,550	純資産の部(現在までの世代が負担した金額)				
			純資産合計		89,979	137,111	
			負債および純資産合計		133,988	221,550	

## 資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて、区分して表示することで、市がどのような活動に資金を必要としているのかを示しています。

(表示単位:百万円)

	坂井市 普通会計	連結
期首資金残高	4,457	9,158
当期収支	△ 202	356
(1) 経常的収支 人件費支出、税収入、 国庫補助金など	4203	6,599
(2) 公共資産整備収支 公共資産整備支出、国 庫補助、市債発行など	△ 1329	△ 1,776
(3) 投資・財務的収支 元利償還金支出、市債 発行など	△ 3076	△ 4,467
期末資金残高	4,255	9,514

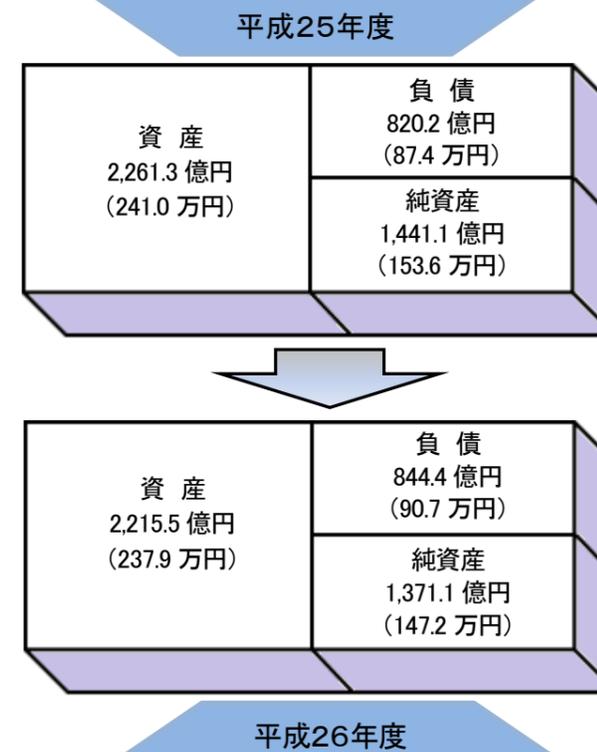
## 純資産変動計算書

市の純資産(資産から負債を引いた残り)が平成26年度中にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したのかを示しています。(表示単位:百万円)

	坂井市 普通会計	連結
期首純資産残高	92,217	144,248
当期変動高	△ 2,238	△ 7,137
(1) 純経常行政コスト 経常費用-経常収益	△ 31,230	△ 41,082
(2) 財源調達 一般財源、国庫補助金 など	28,936	39,664
(3) その他 道路等の資産形成に充 てられた財源	56	△ 5,719
期末純資産残高	89,979	137,111

## 1年間でどれだけ変わった? (貸借対照表 連結ベース)

( )は坂井市の市民一人当たりの額

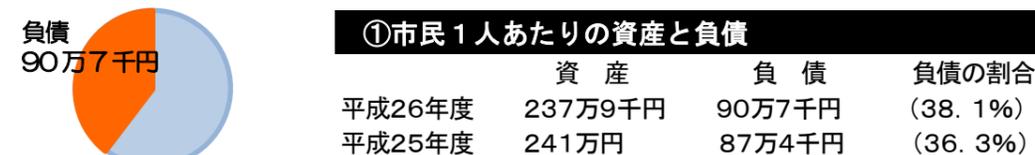


## 行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。(表示単位:百万円)

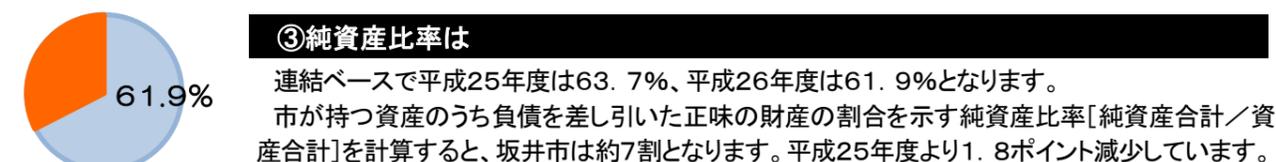
	坂井市 普通会計	連結
経常費用	32,712	95,929
1 人にかかるコスト 人件費、退職手当引当金繰 入など	5,971	8,891
2 物にかかるコスト 物件費、減価償却費、維持補 修費など	9,354	20,733
3 移転支的コスト 社会保障給付、補助金等移 転支出など	16,595	37,061
4 その他のコスト 公債費(利子分)、市税等の 不能欠損額など	792	29,244
経常収益	1,482	54,847
使用料・手数料等	1,482	54,847
純経常行政コスト(経常費用 -経常収益)	31,230	41,082

## 市の資産と負債の状況(連結ベース)



## ②道路や公園など、今までの世代で負担が済んでいるもの

連結ベースで平成25年度は70.8%、平成26年度は68.7%となります。道路や公園など社会資本に対する、現在までの世代の負担割合(社会資本形成の世代間比率)[純資産/(事業用資産+インフラ資産)]を計算すると、坂井市は約7割となります。平成25年度より2.1ポイント減少していますが、7割弱を現在までの世代で負担している状況にあり、将来への負担を抑え負担を先送りしないよう、健全な財政運営に努めています。



26年度は25年度に比べ、資産は減少、負債は増加していることがわかります。比率で見ると、資産に占める負債の割合で+1.8ポイント、資産に占める純資産の割合で△1.8ポイントとなっています。これは主に、26年度から公営企業会計の会計基準が見直されたことによるものです。

○連結…普通会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、水道事業会計、公共下水道事業会計、農業集落排水事業会計、病院事業会計、武生三国モーターボート競走施行組合、福井県市町総合事務組合、嶺北消防組合、福井坂井地区広域市町村圏事務組合、五領川公共下水道事務組合、福井県自治会館組合、坂井地区広域連合、福井県後期高齢者医療広域連合、(公財)坂井市文化振興事業団、(財)坂井市公共施設等管理公社、(財)丸岡文化財団、(公財)坂井市体育協会、(財)坂井市農業振興公社